

News Letter

2014年
9月

中国四国農政局
松江地域センター

しじみの漁獲量 全国トップ奪回を目指して

～しじみの陸上飼育～

昭和40年代には約2万t近くあった宍道湖の“しじみ”漁獲量は、資源保護のための漁獲規制や、宍道湖の環境変化等により、年々減少し、平成25年には1,800t(宍道湖漁業協同組合調べ)まで減少、平成22年まで20年連続日本一だった漁獲量の全国順位も、23年から3年連続で全国2位となりました。しじみの漁獲量が減少する中、しじみの資源回復を目指した取組事例を紹介します。

出雲市斐川町黒目地区にある約300㎡の農業用ビニールハウスの中では、地域への社会貢献と宍道湖のしじみの資源復活を目的として、出雲市と松江市の建設会社3



しじみの陸上飼育実験が行われているビニールハウスの外観(左)と中の様子(右)

社がそれぞれの保有技術（出雲市の大福工業株式会社が水質分析技術、株式会社フクダが覆砂技術と農業用単管ハウス建設技術、松江市の松江土建株式会社が独自の水環境保全システム（WEP））を持ち寄り、平成25年7月から、人工飼育や生育環境に関する陸上飼育技術の確立実験を行っています。同時に、同市荒茅町にある出雲環境技術センター（大福工業株式会社の系列会社）では、しじみの陸上飼育の餌として必要な“ケイ藻”の培養実験も行っています。

通常しじみの産卵期は7～9月頃ですが、宍道湖漁業協同組合斐川漁業会 から提供された親貝を



使ったしじみの人工飼育実験では、塩分濃度、水温を調整することで、放精・放卵することが判明しました。これまでの実験では、稚貝の繁殖までには至っていませんが、今後は、ハウス内で人工授精と、稚貝繁殖の両技術を確立し、宍道湖への放流を目指すそうです。

また、今までの研究の中で、しじみの貝殻に含まれる“アナゴナイト”という成分により、人工真珠層を構成できる可能性があることが判明、今後は、宍道湖岸に打ち寄せられたしじみの貝殻や、食品加工場で発生するしじみの貝殻を利用し、体への親和性の高い自然な化粧品（マニキュア）の開発も検討されています。



人工授精の様子(上)と
雄貝の精子により白濁した飼育ケース(下)



精子の顕微鏡写真(左)と卵子の顕微鏡写真(右)



【しじみの陸上飼育に関する問い合わせ先等】

出雲市枝大津町2番地7 大福工業株式会社 環境部（担当：小村部長）

TEL：0853-21-4151（代）

HP：http://www.dai-fuku-i-zumo.co.jp/



トピックス

島根県の鮮魚・加工品を販売する直売所がオープン ～松江市 地のもの市場 暉祥(きしょう)～



「地のもの市場 暉祥」の店舗

平成26年7月27日、松江市宍道町の国道9号線沿いに、「地のもの市場 暉祥」がオープンしました。この直売所は、恵曇港、浜田港を拠点として沖合底引き網漁業を営む「株式会社 暉祥」が運営するもので、24年10月に中国四国農政局長に「六次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画が認定され、(公財)食品流通構造改善促進機構から補助を受け、空き店舗を改築し、開設されました。

店内では、島根県沖の日本海で水揚げされた魚介類を加工・販売する他に、週末には店頭で魚等の網焼き実演販売も行っています。また、魚を加工する様子を見ることもできます。地元の消費者や、県外からの観光客からは、「活きがいい魚が、安く購入できる」、「網焼きの魚が大変美味しい」と好評を得ています。

代表取締役の藤井 裕一さんは、「これからの時期は、カレイ類、ノドグロ(アカムツ)、アンコウ等、魚の種類が増える。島根県に住んでいながら、島根の魚のすばらしさを知らない消費者が多いので、島根の魚の事をもっと知って欲しい。」と意気込んでいらっしゃいました。



店内に並ぶ活きの良い鮮魚



併設する建物では、飯南町産の農産物を販売



代表取締役
藤井 裕一さん



【地のもの市場 暉祥】

松江市宍道町東来待443

TEL:0852-67-3405 FAX:0852-67-3405

営業時間 10時～16時(定休日:火曜日)

<http://kisho-shimane.co.jp/>

トピックス

観光マスコットキャラクター“しまねっこ”が田んぼに現れる!? ～出雲市大社町遥堪(ようかん)～

出雲市大社町遥堪小学校の近く田んぼに、島根県の観光マスコットキャラクター「しまねっこ」が田んぼアートとして現れ、たくさんのお客で賑わっています。

この田んぼアートは、いずも農業協同組合西部営農センターが企画し、今年の5月、13aの田んぼで遥堪小学校5年生の児童と、遥堪幼稚園の園児で田植えを行ったものです。「しまねっこ」は、「黄大黒」、「紅吉兆」、「紫大黒」の3種類の古代米で表現され、田んぼの近くに設置してある高さ約3メートルのやぐらの上から、自由に見ることが出来ます。

この田んぼアートは、刈り取り予定の9月下旬頃まで楽しむことができます。



やぐらの上からの眺め(左)と上空からの眺め(右)

【問い合わせ先】 いずも農業協同組合西部営農センター TEL:0853-53-2168(担当:久谷(くや)さん)

農林業センサス

平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

○農林業経営体調査(平成26年12月中旬～平成27年2月末)

○農山村地域調査(平成27年4～6月末)

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL: <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>



編集:中国四国農政局 松江地域センター

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線536) FAX(0852)27-8858 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/maillm/index.html>

